



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月12日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL <https://www.watts-jp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績 (2020年9月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	25,618	△1.4	1,085	38.0	1,066	36.2	800	90.2
2020年8月期第2四半期	25,982	1.3	786	114.5	783	132.4	420	306.6

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 766百万円 (82.1%) 2020年8月期第2四半期 421百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	59.72	—
2020年8月期第2四半期	31.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	22,785	11,046	48.5
2020年8月期	21,544	10,481	48.7

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 11,046百万円 2020年8月期 10,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想 (2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,960	△3.5	1,850	4.6	1,780	2.8	1,150	48.5	85.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、2021年4月5日付にて公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期2Q	13,958,800株	2020年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	560,874株	2020年8月期	560,874株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期2Q	13,397,926株	2020年8月期2Q	13,397,926株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2021年8月期2Q 60,000株、2020年8月期 60,000株)が含まれております。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年8月期2Q 60,000株、2020年8月期2Q 60,000株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年10月-12月の国内実質GDP成長率(2次速報)が前期比年率+11.7%と、2四半期続けてのプラス成長となりました。これは、個人消費が新型コロナウイルス感染症の感染拡大のペースダウンと、7月に始まったGO TOキャンペーン等により回復傾向となったことに加え、企業部門ではインバウンド需要は依然消滅したままである一方で、半導体等の堅調な需要増加に支えられた国内外の消費増大による財輸出の好調と、それに伴う設備投資の底打ち感が出てきたことが主因と考えられます。ただ、年明けに再度発出された1都10県に対する緊急事態宣言を受け、再び個人消費が落ち込む場面が見られたものの、昨年4月の第1回目と異なり、飲食店への営業時間短縮に限定したものであること、マスク不足が解消されたこと、外出時の感染予防策の定着等により、負の影響は限定的となりました。また、2月中旬から医療従事者を皮切りにワクチンの接種が開始されたことは光明ではあるものの、今後の一般国民への接種スピードや、変異株の蔓延状況如何によっては、更なる長期化が懸念されます。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts (ワッツ)」「Watts with (ワッツ ウィズ)」「meets. (ミーツ)」「silk (シルク)」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけではなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、引き続き100円以外の価格帯(200円~1,000円)の商品導入を進めており、委託販売型店舗での取扱いについても積極的に拡大しております。また、当社100円ショップ内に、「Buona Vita (ブォーナ・ヴィータ)」のコーナーを設けた店舗を展開する等、グループ事業間でのシナジー強化に取り組んでおります。加えて、2021年2月22日にワッツ公式YouTubeチャンネルを開設いたしました。

出店状況につきましては、通期計画の144店舗に対して74店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が21店舗あり、当第2四半期連結会計期間末店舗数は、直営が1,268店舗(53店舗純増)、FCその他が25店舗(増減なし)の計1,293店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、715店舗(76店舗純増)と全体の55.3%となりました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita」は19店舗(2店舗減)となりました。店舗の特性に合わせた商品構成の見直しやLINE公式アカウントを活用した販売促進活動等に取り組んでおります。デンマークのライフスタイル雑貨店「Sostrene Grene (ソストレーネ・グレーネ)」は、2店舗(2店舗減)となりました。なお、当該事業については撤退することが決まっており、3月末日をもって全店舗営業を終了しております。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗(増減なし)、ディスカウントショップ「リアル」は6店舗(増減なし)となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA (こものや)」は、タイで48店舗(2店舗減)、マレーシアで2店舗(増減なし)、ベトナムで4店舗(1店舗減)、ペルーで20店舗(増減なし)となりました。中国での均一ショップ「小物家園 (こものかえん)」は、6店舗(増減なし)となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は80店舗(3店舗減)となりました。

前期に中国現地法人を譲渡したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外事業及び「Buona Vita」の売上高は減少いたしました。また、国内100円ショップ事業においては堅調に推移しているものの、前期2月の衛生用品の需要増に対する反動を受けたことで、売上高は前期並みに留まりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,618百万円(前年同期比1.4%減、計画比101.1%)となりました。

一方で、不採算事業の整理が進んだことに加え、出店・改装に係る費用が抑えられたこと等により、営業利益は1,085百万円(前年同期比38.0%増、計画比141.0%)、経常利益は1,066百万円(前年同期比36.2%増、計画比142.3%)となりました。

また、当社連結子会社である㈱ヒルマー・ジャパンの事業撤退にあたり、共同出資会社からの借入金の免除等を受けたことで債務免除益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は800百万円(前年同期比90.2%増、計画比129.1%)となりました。(前年同期比は前年同四半期連結累計期間実績比、計画比は2021年1月12日付「第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2021年8月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想比であります。)

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は17,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,023百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が995百万円、商品及び製品が203百万円、それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が129百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は5,345百万円となり、前連結会計年度末に比べて217百万円増加いたしました。これは、基幹システム刷新に伴い、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェア仮勘定が287百万円増加した一方、繰延税金資産が51百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、22,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,241百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ722百万円増加いたしました。これは、電子記録債務が577百万円、支払手形及び買掛金が467百万円、それぞれ増加した一方、未払消費税等が265百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は1,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少いたしました。これは、長期借入金が268百万円減少した一方、資産除去債務が207百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、11,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ675百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は11,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ565百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が598百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は48.5%（前連結会計年度末は48.7%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて995百万円増加し、7,586百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,802百万円（前年同四半期は842百万円の獲得）となりました。収入の内訳は、税金等調整前四半期純利益1,223百万円、仕入債務の増加額1,045百万円等であります。支出の主な内訳は、債務免除益291百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は409百万円（前年同四半期は317百万円の使用）となりました。この内訳は、無形固定資産の取得による支出289百万円、新規出店等のための有形固定資産の取得による支出133百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は392百万円（前年同四半期は36百万円の使用）となりました。この内訳は、長期借入金の返済による支出255百万円、配当金の支払額201百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2020年10月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年4月5日付にて公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,591,348	7,586,464
受取手形及び売掛金	2,340,081	2,211,030
商品及び製品	7,114,726	7,317,917
原材料及び貯蔵品	15,339	30,882
未収消費税等	57,652	69,897
その他	320,877	246,539
貸倒引当金	△23,849	△22,932
流動資産合計	16,416,177	17,439,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,021,501	2,101,635
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,290,640	△1,269,801
建物及び構築物（純額）	730,860	831,834
車両運搬具	19,860	24,514
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,252	△14,230
車両運搬具（純額）	5,607	10,283
工具、器具及び備品	3,637,146	3,667,537
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,049,711	△3,118,925
工具、器具及び備品（純額）	587,435	548,611
土地	257,800	257,800
リース資産	27,623	27,623
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,879	△22,789
リース資産（純額）	7,744	4,833
建設仮勘定	19,162	—
有形固定資産合計	1,608,611	1,653,364
無形固定資産		
その他	227,932	506,754
無形固定資産合計	227,932	506,754
投資その他の資産		
投資有価証券	436,438	406,946
繰延税金資産	406,098	354,910
差入保証金	2,316,365	2,300,839
その他	143,227	133,338
貸倒引当金	△10,166	△10,163
投資その他の資産合計	3,291,964	3,185,872
固定資産合計	5,128,507	5,345,991
資産合計	21,544,684	22,785,790

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,479,165	3,946,732
電子記録債務	3,686,438	4,263,896
1年内返済予定の長期借入金	684,324	480,568
未払法人税等	169,097	385,706
未払消費税等	399,903	134,127
事業整理損失引当金	75,596	49,601
賞与引当金	203,687	184,782
役員賞与引当金	17,900	—
その他	945,519	938,786
流動負債合計	9,661,633	10,384,201
固定負債		
長期借入金	569,688	301,634
退職給付に係る負債	297,928	309,153
役員退職慰労引当金	27,772	29,121
役員株式給付引当金	65,245	82,123
資産除去債務	192,735	399,867
その他	247,987	232,874
固定負債合計	1,401,358	1,354,776
負債合計	11,062,992	11,738,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,354,136	1,354,136
利益剰余金	8,965,680	9,563,943
自己株式	△273,120	△273,120
株主資本合計	10,486,994	11,085,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,857	18,840
為替換算調整勘定	△21,158	△57,285
その他の包括利益累計額合計	△5,301	△38,444
純資産合計	10,481,692	11,046,812
負債純資産合計	21,544,684	22,785,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	25,982,206	25,618,481
売上原価	16,081,752	15,736,583
売上総利益	9,900,453	9,881,897
販売費及び一般管理費	9,114,209	8,796,513
営業利益	786,243	1,085,384
営業外収益		
受取利息	4,477	779
為替差益	12,153	1,346
受取ロイヤリティー	3,144	2,040
受取補償金	24,677	1,442
補助金収入	5,448	2,117
その他	10,158	5,419
営業外収益合計	60,060	13,146
営業外費用		
支払利息	2,362	1,517
退店違約金	44,578	1,320
持分法による投資損失	11,520	24,252
その他	4,649	4,525
営業外費用合計	63,111	31,615
経常利益	783,192	1,066,914
特別利益		
保険解約返戻金	1,260	4,974
投資有価証券売却益	—	3,403
固定資産売却益	362	232
受取保険金	25,138	8,532
債務免除益	—	291,302
特別利益合計	26,761	308,446
特別損失		
固定資産除却損	2,376	1,651
減損損失	89,997	150,464
事業整理損	107,007	—
災害による損失	23,228	—
特別損失合計	222,610	152,115
税金等調整前四半期純利益	587,343	1,223,245
法人税、住民税及び事業税	353,314	375,190
法人税等調整額	△186,551	47,922
法人税等合計	166,762	423,112
四半期純利益	420,580	800,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	420,580	800,132

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	420,580	800,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,547	2,983
為替換算調整勘定	△7,647	△31,403
持分法適用会社に対する持分相当額	11,815	△4,723
その他の包括利益合計	620	△33,143
四半期包括利益	421,200	766,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,200	766,988
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	587,343	1,223,245
減価償却費	205,985	156,330
減損損失	89,997	150,464
のれん償却額	2,860	2,860
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,673	△919
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,966	△36,804
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	12,124	11,224
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,337	1,349
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	4,128	16,878
事業整理損失引当金の増減額（△は減少）	74,844	△25,994
受取利息及び受取配当金	△4,562	△784
支払利息	2,362	1,517
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△3,403
固定資産除却損	2,376	1,651
債務免除益	—	△291,302
売上債権の増減額（△は増加）	101,903	128,472
たな卸資産の増減額（△は増加）	△121,934	△234,227
仕入債務の増減額（△は減少）	131,443	1,045,024
未払消費税等の増減額（△は減少）	130,445	△280,220
その他	△132,058	103,504
小計	1,071,957	1,968,866
利息及び配当金の受取額	4,340	1,752
利息の支払額	△1,295	△8,971
法人税等の支払額	△232,845	△159,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	842,156	1,802,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△242,135	△133,113
有形固定資産の売却による収入	780	465
無形固定資産の取得による支出	△57,424	△289,586
敷金及び保証金の差入による支出	△34,233	△43,277
敷金及び保証金の回収による収入	61,247	38,127
資産除去債務の履行による支出	△45,609	△40,992
投資有価証券の取得による支出	△387	—
投資有価証券の売却による収入	—	8,484
その他	300	50,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,460	△409,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△299,289	△255,810
リース債務の返済による支出	△3,143	△3,143
配当金の支払額	△134,297	△201,472
その他	—	67,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,729	△392,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,334	△4,503
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	503,299	995,116
現金及び現金同等物の期首残高	6,075,315	6,591,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,578,615	7,586,464

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（資産除去債務の見積りの変更）

当第2四半期連結会計期間において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。当該変更による増加額220,100千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部については減損損失として処理をしており、当該見積りの変更の結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は68,100千円減少しております。